

## 河内貯水池堰堤・周辺橋梁群

- 河内貯水池堰堤 / 福岡県北九州市八幡東区 JR鹿児島本線「八幡駅」から車で20分
- 南河内橋 / 福岡県北九州市八幡東区 JR鹿児島本線「八幡駅」から車で25分

## 日本の製鉄を支えた貯水池建設

第一次世界大戦が勃発した1910年代、官営八幡製鉄所では、鉄鋼需要の激増に対応するため一大拡張事業が実施されることになった。その一環として計画された河内貯水池は、大正8(1919)年から昭和2(1927)年にかけて、430万円(現在の価値で約60億円)の巨費と延べ90万人の人員、8年の歳月を費やして建設されたダム湖である。膨大な工業用水を必要とする製鉄所にとって、貯水池建設による良質な水の確保はその生命線であり、着工当時東洋一の規模を誇った堰堤の建設は、八幡製鉄所のシンボルともいえる一大事業であった。

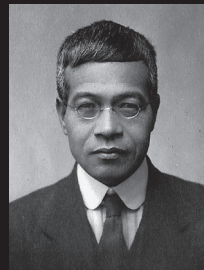
河内貯水池堰堤をはじめ、貯水池周辺の建築物や橋梁群は地産の石がふんだんに使用されている。切石積、野面積、割石張、自然石張など我が国伝統の多様な組積方法が駆使され、ディテールまで丹念に作りこまれたこれらの構造物群は、建設から80年を経て貯水池周囲の自然環境に見事に同化し味わい深い景観をつくり出している。

貯水池と周辺施設群の設計、施工の指揮にあたったのは、八幡製鉄所技師の沼田尚徳であった。沼田は京都帝国大学で小樽の水道計画を立案し、学位を得ている。明治33(1900)年、帝大卒業と同時に官営八幡製鉄所に技手として任官し、昭和5(1930)年に退官するまでの間、八幡製鉄所の技師としてあらゆる建設工事に携わり、土木・建築分野の中心となって活躍した。

沼田は、漢詩や書を嗜み、独自に美的感覚を磨く一方で、大正4(1915)年から翌年にかけて英米に9ヶ月間滞在し、事例見学や文献の収集など当時英米の最先端の技術や思想に触れていた。おそらくはそうした知識や体験を通じて、土木構造物には高い水準でデザイン性やシンボル性が付与されるべきであるとの信念を持つに至ったと考えられる。その答えの一つが貯水池と周辺施設群といえるであろう。沼田が設計した堰堤や橋を見た会計検査院の役人が過剰コストを指摘した際、沼田はひるむことなく反論したとの逸話が残されている。

8年に及ぶ大工事の間、驚くべきことに死亡災害は一件も発生していない。これは、平日休日問わず工事現場や現場周辺を歩いて実地検分し、事故を未然に防ぐために細かな釘や針金も黙って拾いあげ片付けたという沼田の姿勢に由縁するものであろう。貯水池の脇にひっそりと建つ管理施設の入口には「遠想」という沼田の書跡が掲げられている。これは土地を提供してくれた八幡村の人々に対する感謝の気持ちを表したものだといわれている。沼田は、失われていく八幡村の地に、ただ機能のみを追求した貯水池を建設するのではなく、後世の人々にも愛される美しい空間を実現しようとしたのだろう。

沼田が想いを込めた河内貯水池は今日、多くの市民に愛され憩いの場を提供しているが、日本の製鉄を支え続ける水がめとして今も健在である。



2. 青年時代の沼田尚徳技師

3. 建設中の河内貯水池堰堤  
構造は両面石張重力式含石コンクリートダム

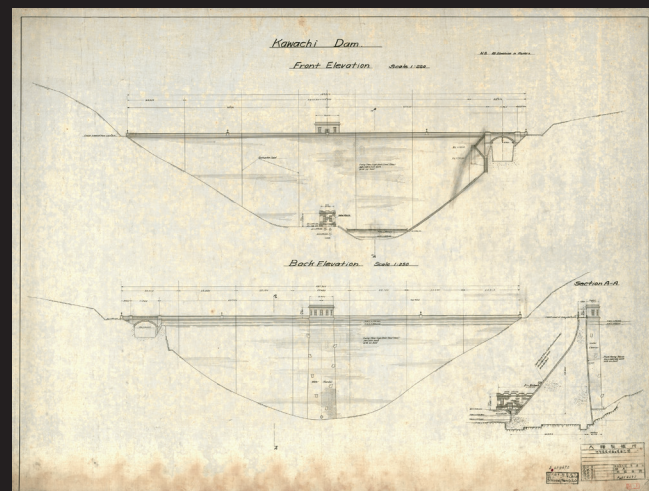
4. 天端道路高欄部詳細

5. 管理施設に掲げられた  
沼田技師の「遠想」の書跡6. 現在の河内貯水池堰堤を上流側から望む  
中央は半円形の取水塔

7. 取水塔及び天端道路の詳細



河内貯水池周辺の施設配置図



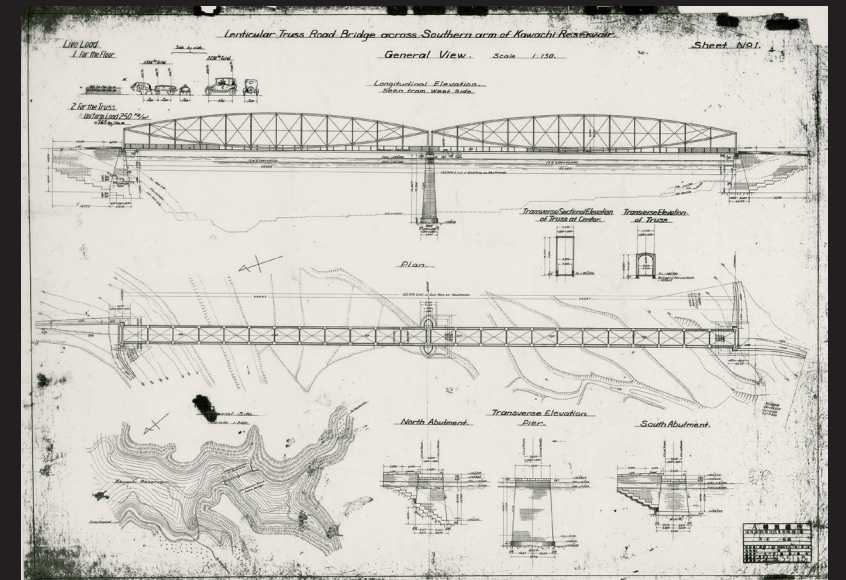
1. 河内貯水池堰堤全体図

## 河内貯水池周辺橋梁群

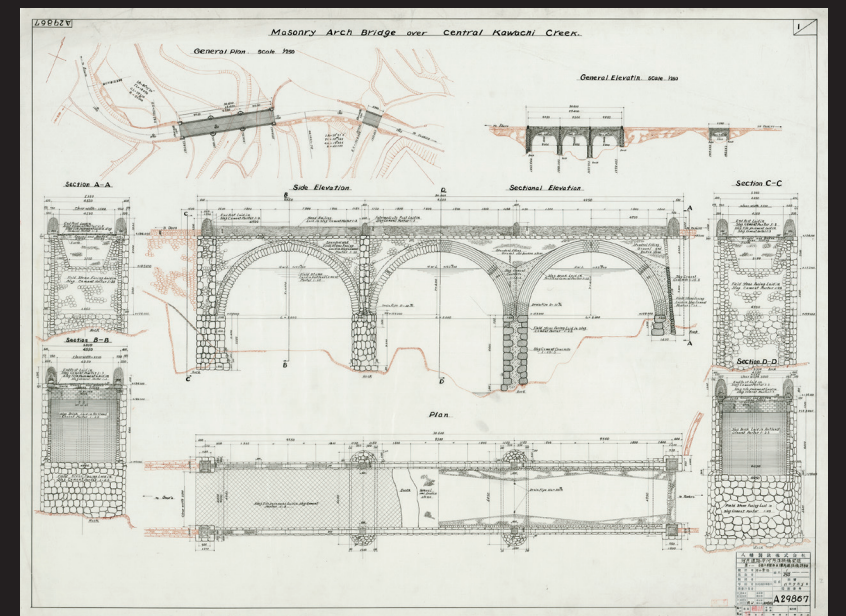
河内貯水池の魅力の一つは周辺に建設された多数の橋梁群である。貯水池周辺から製鉄所に至る道路や水路には、アーチ橋や桁橋など様々なデザインの橋梁が建設された。

貯水池の取り付け道路には特徴的な5つの橋が建設されている。中でも最長の南河内橋は、我が国に現存する唯一のレンティキュラートラス橋であり、赤く塗装された魚形の橋は緑色の湖面によく映えて、今日でも河内貯水池のシンボリックな存在となっている。中河内橋は3連+1連の石造アーチ形式の橋梁で、環石と側壁が自然石積、アーチ下面は鈹澤煉瓦積で建設されており、アーチ部の環石の自然石を縦長に使用しているところに特徴がある。北河内橋はアーチ型をした薄い板状の鉄梁が3本掛けられ、その上にコンクリート床板を打ったカンチレバーアーチ形式の橋梁である。コンクリート板覆の鉄骨橋は沼田が得意とした形式の一つで、鉄筋コンクリート技術が開発されていなかった当時、鋼材を潤沢に使用できた製鉄所の施設ならではの橋梁であるといえるだろう。猿渡橋は切石積の石造アーチ橋である。また1型鋼桁橋の水無第一橋・第二橋は現在、撤去されている。

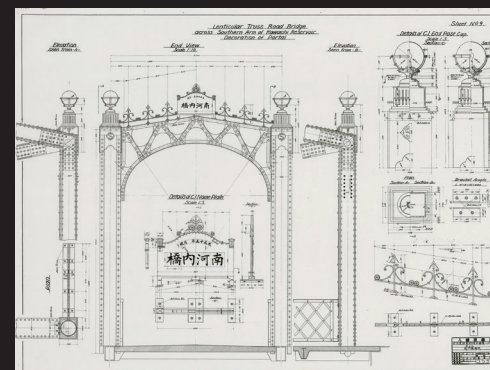
この他にも水路沿いではRC床板アーチ形式の太鼓橋や3ヒンジ開腹アーチ形式の南山の田橋など、変化に富んだ橋梁を見ることができる。(榎本 碧)



8. 南河内橋全体図



9. 中河内橋全体図



10. 南河内橋橋門構設計図



11. 建設中のレンティキュラートラス



12. 現在の南河内橋